

ふくし  
福祉のまちづくり読本

# みんなが住みよい まちづくり



宮城県・宮城県人権啓発活動ネットワーク協議会

# もくじ

## みんなで福祉のまちづくり

- 福祉のまちづくり..... 3
  - 1 みんなが主役～違いをみとめて～
  - 2 人と人との支えあい

## 知っていますか

- バリアフリーのまち..... 6
- 線状（点状）ブロック ..... 8
- 補助犬..... 9
- 点字 ..... 10
- 音声コード..... 10
- 手話 ..... 11
- 障害者優先トイレ・多機能トイレ ..... 12
- 車いすマーク駐車場 ..... 12
- ゆずりあい駐車場利用制度 ..... 13
- ユニバーサルデザイン ..... 14
- 障害者等に関するマーク..... 15

## 何かお手伝いすることはありますか

- さまざまな人が感じている不便さ..... 17
- 目の不自由な人とともに..... 18
  - 1 あいさつするときは
  - 2 手引きをするときは
  - 3 階段ののぼりおりは
  - 4 エスカレーターに乗るときは
  - 5 自動車に乗るときは
  - 6 駅構内では
  - 7 道を聞かれたときは
  - 8 いすをすすめるときは
  - 9 食事などのときは
- 耳の不自由な人とともに..... 21
  - 1 口話（読話）
  - 2 手話
  - 3 筆談
  - 4 病院や銀行などで
  - 5 ものをたずねられたら
  - 6 電話をたのまれたときは
- 手足の不自由な人とともに..... 23
  - 1 車いすの構造
  - 2 車いすの折りたたみ方
  - 3 車いすに乗っている人をかかえるときは
  - 4 段差のあがりさがりは
  - 5 溝をこえるときは
  - 6 坂をおりるときは
  - 7 階段ののぼりおりは
  - 8 松葉づえのひとが階段をのぼるときには
  - 9 雨の日には
- 高齢の人・妊婦・ことばの不自由な人などとともに..... 26
  - 1 電車やバスの中で
  - 2 高齢の人に話かけるときは
  - 3 ことばの不自由な人の話を聞くときは



## みんなふくしで福祉のまちづくり

高齢こうれいの人も若い人わかも、障害しょうがいのある人もない人も、共に支えあいながら住みなれた地域ちいきに住み続けられる社会しづげんが実現できたらどんなにすばらしいことでしょう。

さあ、そうした社会しづげんの実現をめざして、みんなふくしで福祉のまちづくりを進めましょう。きっとすてきな笑顔えがおの輪わが広がります。

### だれもが住みよい福祉ふくしのまちづくり条例じょうれい

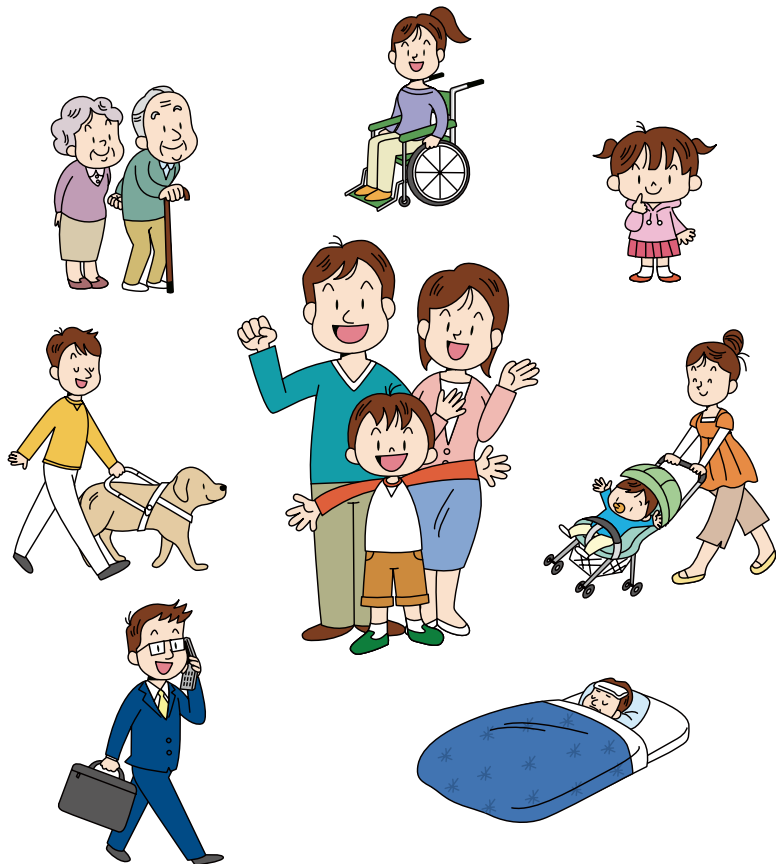
平成8年7月に宮城県せいていが制定した条例じょうれいです。県や市町村、県民、事業者やくの役割わりについて定めているほか、建物、道路、公園などの整備せいびに関することなどが定められています。

## 福祉のまちづくり

「だれもが住みよい福祉のまち」を実現するためには、まず、高齢の人や障害のある人、小さな子どもを連れた人などが思いどおりに移動し、活動できることが必要です。そのためには、よく利用される建物や道路や公園などが高齢の人や障害のある人にも配慮されたものであることが大切です。段差をなくしたり、エレベーターやスロープや手すりを設けたり、床をすべりにくくしたりすることなどは、その例です。

しかし、建物や道路などが整備されても、それだけで完全であるとはいえません。人と人との助けあいが必要なときがあるのです。

「だれもが住みよい福祉のまち」は、みなさんのやさしい心と人と人との支えあいがあってはじめて実現されるものなのです。



## 1

## みんなが主役～違いをみとめて～

みなさんの周りには、家族や友だち、先生、近所の人たちなど、いろいろな人がいます。あらためて、周りにいるいろいろな人を見つめ直してみましょう。元気に働いている人や病気の人、高齢の人や小さな子ども、障害のある人など、さまざまです。また、昔からそこに住んでいる人もいれば、ほかのまちから引っ越してきた人もいたり、それぞれの暮らしぶりや考え方も違います。

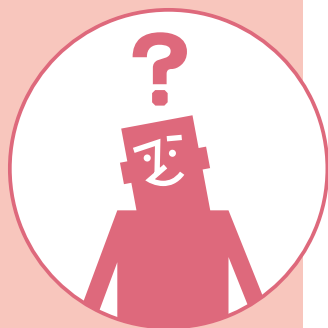
人には違いがあるのです。みんながその違いをみとめた上で、共に生きているのです。

## 2

## 人と人との支えあい

みなさんは、生活の中で、周りの人たちとどういう関係を持っているでしょうか。家族はごはんを作ってくれたり、おこづかいをくれたりします。友だちはいろいろと話をしてくれたり、いっしょに遊んでくれたりします。近所の人、安全に遊べるように見守ってくれたりします。私たちは一人で生活しているのではなく、いろいろな人とおたがいに助けたり助けられたりしながら生活しています。このおたがいに助けたり助けられたりということが、人と人との支えあいです。

人と人との支えあいは、おたがいに声をかけたり、困っているときにお手伝いをするところからはじまります。そして、一人ではできないことでも、仲間や地域、さらにみんなが力をあわせることで、できるようになっていくのです。



## 知っていますか

ここでは、普段よく見かけたり聞いたりするものの、よく知られていないものや誤解されているものの中から、線状（点状）ブロックや補助犬、点字、手話を取り出して説明します。これを機会に、点字や手話を覚え、ボランティアをしてみたいかがでしょう。

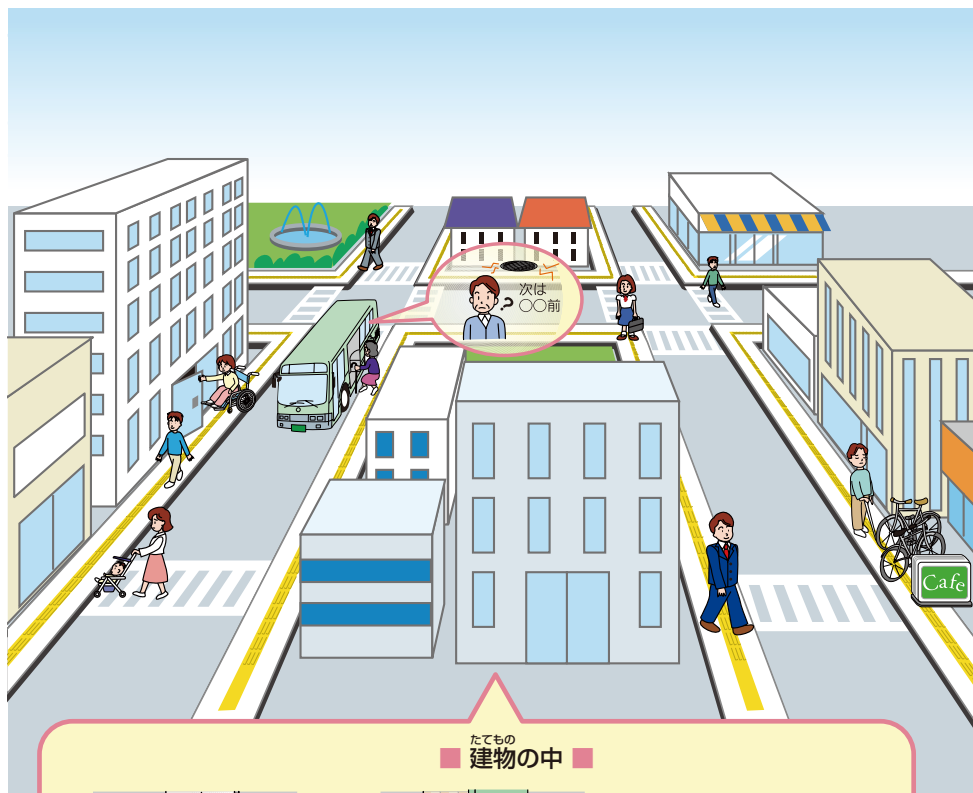
### バリアフリー

高齢の人や障害のある人などが生活をする上で不便を感じているもの（バリア）を取り除いて、だれもが住みやすい生活環境をつくることをいいます。

バリアフリーでは、建物の出入口や道路の段差などの「物理的バリア」を取り除くだけでなく、高齢の人も若い人も、障害のある人もない人もすべての人がお互いの理解を深めて、「心のバリア」を取り除くことが大切です。

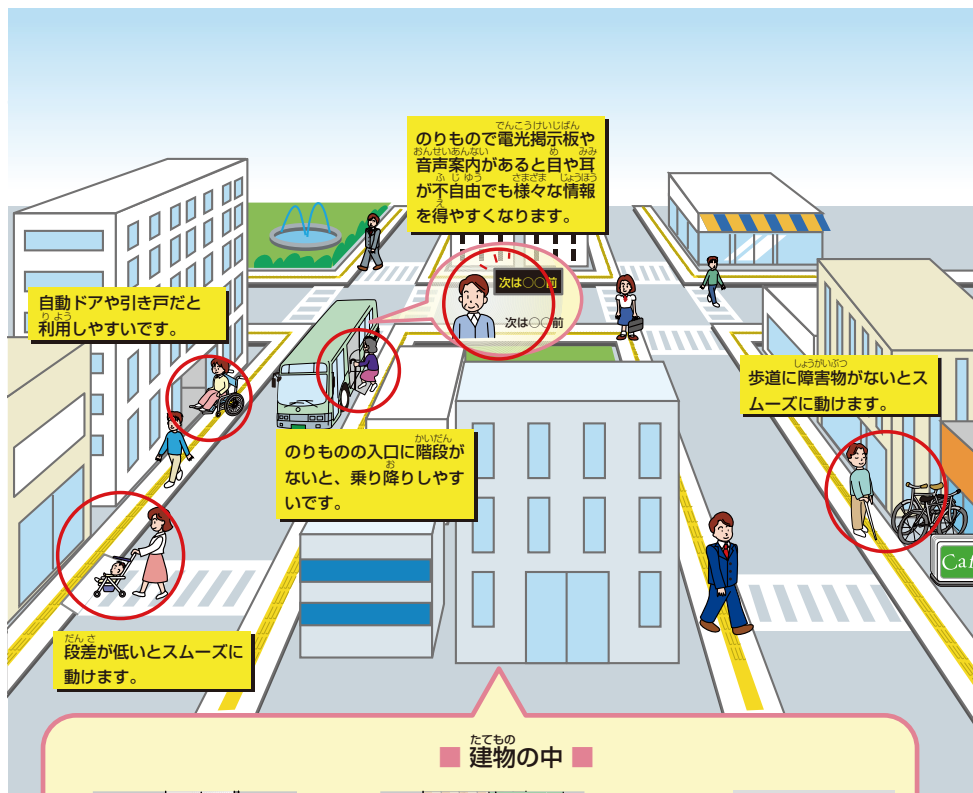
# バリアフリーのまち

まちの中の不便なところはどこか考えてみよう。



(こたえは次のページにあります。)

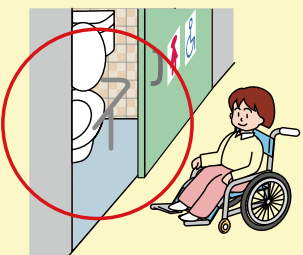
どんな不便なところを見つけましたか。



たてもの  
建物の中



ボタンが低いところがあると、車いすに乗った人や子どももボタンが押しやすいです。



入り口に段差がなく、ドアや内部が広く、手すりつきの洋式便座のあるトイレはだれもが利用しやすいトイレです。



階段には手すりやすべりどめがあると安全です。



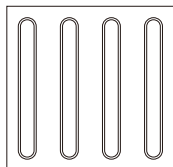
# 線状(点状)ブロック

せんじょう てんじょう  
線状(点状)ブロックは、目の不自由な人が通路やろう下などを安全に安心して歩けるように誘導したり、注意をうながしたりするために設けるブロックです。色は、じやくし弱視の人にもわかるように周囲の色との違いがわかりやすい色になっています。

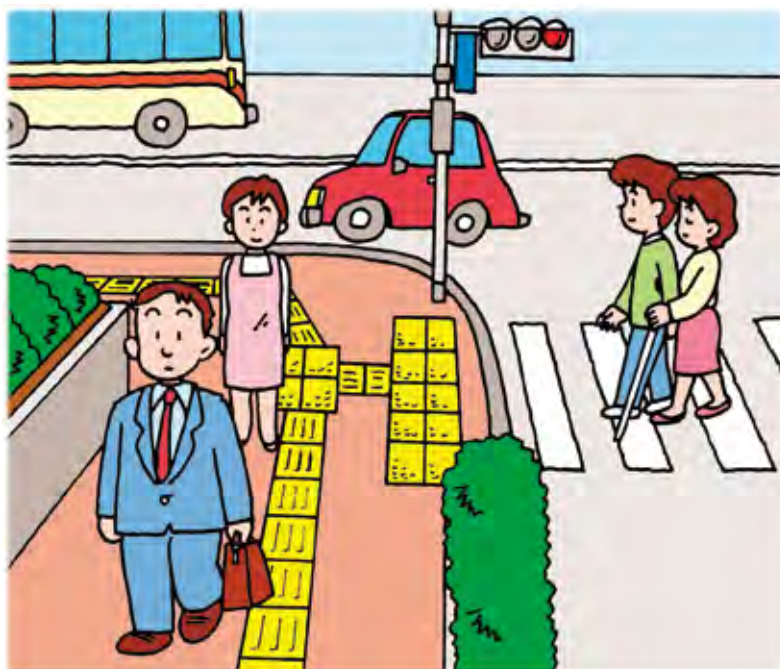
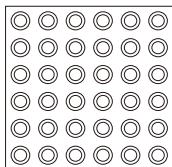


- こんなことしていませんか。目の不自由な人がケガをしてしまいます。

せんじょう  
線状のブロックは、歩行方向を案内しています。



てんじょう  
点状のブロックは、方向でんかんや注意が必要なる位置などを案内しています。



# 補助犬

補助犬とは、目や耳、手足の不自由な人を手助けるもうどうけん盲導犬・ちようどうけん聴導犬・かいじょけん介助犬のことで

す。盲導犬…階段があることなどを、目の不自由な人に知らせ、安全に歩けるよう手助けする犬のことです。

聴導犬…電話やインターホンなどの音を聞きつけて、耳の不自由な人に知らせる犬のことです。

介助犬…落としたものを拾うなど、手足の不自由な人の日常生活を手助ける犬のことです。

補助犬は訓練され、しつけられていますので、ほえたり、かみついたりすることはありません。また、排せつについてもしつけられていますので、利用する施設を汚すことはありません。

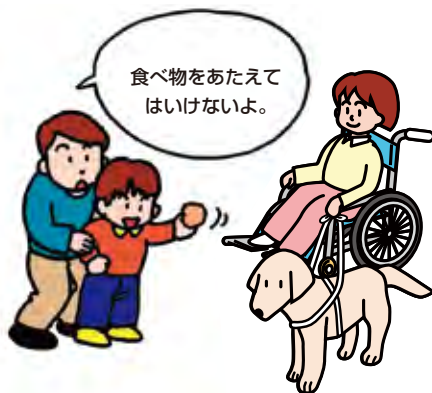
補助犬がはい胴輪（どうわハーネス）をしているときは、仕事をしているときです。声をかけたり、なでたり、食べ物にあたえたりしないでください。



●補助犬は、どうわ胴輪（ハーネス）をしています。



●補助犬は、しつけられています。



●仕事ほじょけん中の補助犬に食べ物にあたえてはいけません。

# 点字

あ い う え お

か き く け こ

さ し す せ そ

た ち つ て と

な に ぬ ね の

は ひ ふ へ ほ

ま み む め も

や ゆ よ

ら り る れ ろ

わ を ん (撥音符) っ (促音符) ー (長音符)

が ぎ ぐ げ ご

ざ じ ず ぜ ぞ

だ ぢ づ で ど

ば び ぶ べ ぼ

ぱ ぴ ぷ ぺ ぽ

1 2 3 4 5

6 7 8 9 0

# 音声コード

紙がしゃべる？



- この四角形の模様のことを「音声コード」といいます。1辺が約2cmの四角形の中に約800文字の情報が記録されています。



- 「音声コード」を読むためには、左の写真のような活字文書読み上げ装置が必要です。

# 手話

## おはようございます

- ①握りこぶしを右こめかみにあて、あごのあたりまでひきおろし
- ②向かい合わせた人指し指をおる



## ありがとうございます

左手甲に直角にのせた右手を上あげる



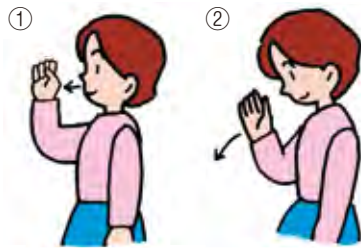
## 手助けして下さい

- ①握りこぶしの甲を前から2回ほどたたく
- ②右手を顔の中央から下へおろす



## よろしくお願ひします

- ①握りこぶしを鼻から前に出して
- ②右手を顔の中央から下へおろす



## わかりました

右手を胸にあてておろす



## わかりません

右手で右胸を払いあげる



手話についてもっと知りたい方は、

# 障害者優先トイレ・多機能トイレ

入口に段差がなく、ドアや内部が広く、手すり付きの洋式便座があるトイレは、車いすを使用している人だけでなく、高齢者や妊娠中の人、体の不自由な人など、一般のトイレを使いづらい人が優先的に使えるトイレです。

ベビーベッドや介護ベッドを設置して多目的トイレと表示していることもあります。

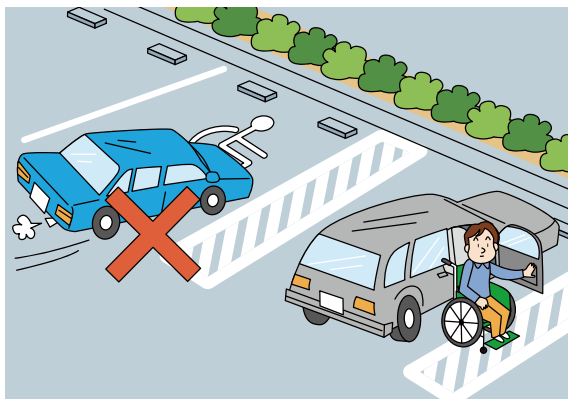


## 車いすマーク駐車場

車いすマーク駐車場は、一般の駐車場より幅が広く、建物の入口の近くににあります。車に乗りおりするためにドアを大きく開けることができ、車と建物とのきよりが短くなっているため、車いすを使用している人や体の不自由な人などが便利に使うことができます。「だれも止めていないから」と車を止めている人を見かけませんか？ でも、その場所を必要としている人がいます。



車いすマーク  
(国際シンボルマーク)  
※15ページにマーク  
の説明があります。



# ゆずりあい駐車場利用制度

ゆずりあい駐車場利用制度は、車いすマーク駐車場を必要としている人が、より使いやすく、安心して使えるようにした制度です。

車いすを使用している人、体の不自由な人、妊娠中の人など、歩くことが大変な人が宮城県に申し込むことで、利用証を受け取ることができます。

この制度に協力している施設の駐車場の中には、制度の対象区画であることを示すマークがあり、この区画を利用する場合は利用証を車内に掲示します。

そうすることで、この区画を必要としていることをまわりに知らせることができます。



**ゆせんくかく**  
**〈車いす使用者優先区画〉**

歩くことが大変な人で、車の乗りおりに幅広いスペースを必要とする人のための区画です。



**くかく**  
**〈ゆずりあい区画〉**

歩くことが大変な人のために施設出入口付近に設置された普通の幅の区画です。





ゆずりあい区画

**りようしょう**  
**〈利用証〉**



〈車いす使用者用〉



〈車いす使用者以外用〉

りようしょう ちゅうしゃ  
利用証は、駐車した後に車内のルームミラーにひっかけるなどして掲示します。



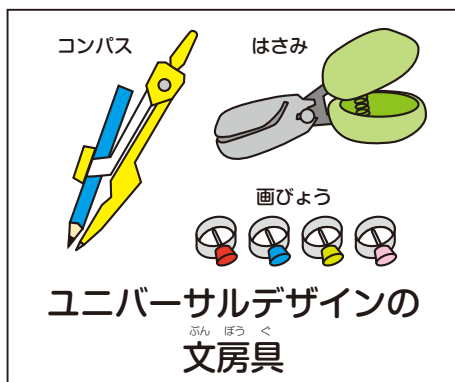
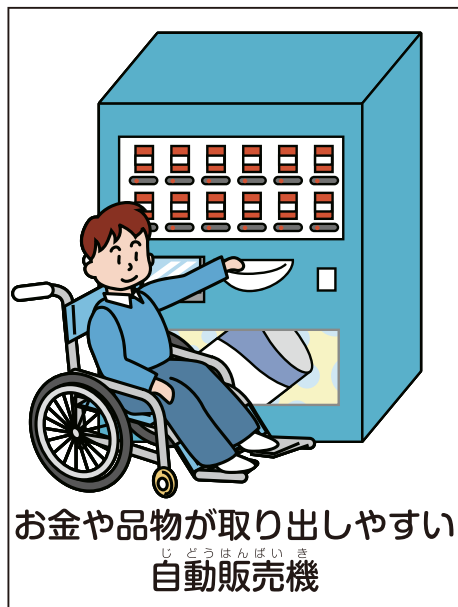
# ユニバーサルデザイン

バリアフリーとは、「物理的<sup>ぶつりてき</sup>なバリア」や「心のバリア」などいろいろなバリアを取り除いて、だれもが住みやすい生活環境<sup>かんきよう</sup>をつくることですが、すべての人のためのデザインという意味のユニバーサルデザインという言葉も使われています。

バリアフリーとユニバーサルデザイン<sup>ちが</sup>の違いは、たとえばバリアフリーは階段<sup>かいだん</sup>のわきにスロープを付けて、高齢<sup>こうれい</sup>の人や障害<sup>しょうがい</sup>のある人でも、使いやすいようにしたのですが、ユニバーサルデザインは始めから階段<sup>かいだん</sup>や段差<sup>だんさ</sup>を作らないで、平らな地面<sup>ちめん</sup>のまま、だれでも利用<sup>りよう</sup>しやすいようにするものです。

どちらも、だれもが住みよいまちや、使いやすいものを目指<sup>まわ</sup>しています。みなさんの周りにも、ユニバーサルデザインを取り入れたものがたくさんありますから、いろいろ探<sup>さが</sup>してみましょう。

## たと 例えば…



# 障害者等に関するマーク

しょうがいしゃ かん  
障害者等に関するマークには、次のようなものがあります。

	<p><b>身体障害者標識</b> しんたいしょうがいしゃりょうしき</p> <p>手足の不自由な人が運転している自動車につけるマークです。このマークをつけた自動車に無理な幅寄せや追いこしをすると交通違反になります。</p>
	<p><b>聴覚障害者標識</b> ちやうかくしょうがいしゃりょうしき</p> <p>耳の不自由な人が運転している自動車につけるマークです。このマークをつけた自動車に無理な幅寄せや追いこしをすると交通違反になります。</p>
	<p><b>国際シンボルマーク(車いすマーク)</b> こくさい</p> <p>障害のある人々が利用しやすい建築物、施設であることを示す国際的な標準マークです。 このマークは、すべての障害者を対象としています。</p>
	<p><b>ほじょ犬マーク</b> ほん</p> <p>身体障害者補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)が公共の施設や交通機関、民間施設(デパートやホテルなど)に障害のある人といっしょに入ることができることを知ってもらうためのマークです。</p>
	<p><b>ヘルプマーク</b></p> <p>人工関節を使用している方、内部障害や難病の方など、外見からは分からなくても配慮や手助けを必要としている方が身につけるマークです。</p>
	<p><b>オストメイトマーク</b></p> <p>人工こう門・人工ぼうこうを使用している方(オストメイト)のための設備があることを表しています。</p>
	<p><b>ハート・プラスマーク</b></p> <p>心臓やじん臓などの内臓に障害のある人を表現しているマークです。外見からは分かりにくい身体内部の障害のある人への理解を深めるために、このマークの普及が進められています。</p>





## 何かお手伝いすることはありませんか

安全で快適に外出したい。それはだれもが思うことです。高齢の人や障害のある人にとっては、障害の無い人の気づかないようなことが原因で外出できなくなったりすることがあります。

ここでは、まちの中でみなさんが高齢の人や障害のある人を見かけたとき、お手伝いできる例を紹介しています。

さあ、勇気を出して「何かお手伝いすることはありませんか。」と声をかけてみてください。また、お手伝いしたくても、自分でできないことは周りにいる大人を呼ぶこともお手伝いになります。お手伝いされる側の気持ちも考えながら、無理をしないでお手伝いをすることが大切です。

### ノーマライゼーション

高齢の人も若い人も、障害のある人もない人も、共に地域で日常生活を送るような社会こそが普通（ノーマル）の社会であるという考え方をいいます。

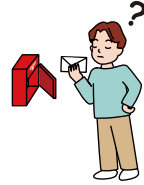
# さまざまな人が感じている不便さ

さまざまな人がどんなことを不便と感じているのか考えて、お手伝いできることを考えてみよう。

1

## 目の不自由な人が感じている不便さ

- ・どこに、何があるのかわからない
- ・だれからの手紙なのかわからない
- ・歩道に障害物があると、ころぶことがある



みなさんがお手伝いできることは ⇒18ページへ

2

## 耳の不自由な人が感じている不便さ

- ・話しかけられたり、音が鳴っても気づかない
- ・非常時のアナウンスに気づかない



みなさんがお手伝いできることは ⇒21ページへ

3

## 手足の不自由な人が感じている不便さ

- ・段差のある入口が入りにくい
- ・高いところや床に落ちたものが取りにくい
- ・高いところが見えづらい

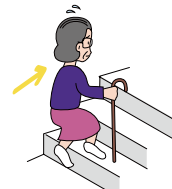


みなさんがお手伝いできることは ⇒23ページへ

4

## 高齢の人が感じている不便さ

- ・音が聞こえにくくなる
- ・小さな文字が読みにくくなる
- ・階段ののぼりおりが大変になる



みなさんがお手伝いできることは ⇒26ページへ

5

## 外見では分かりにくい障害を抱えている人が感じている不便さ

- ・外見からは分かりにくいいため、電車・バスの中で優先席に座っていると、不審な目で見られ、ストレスを受けることがある



みなさんがお手伝いできることは ⇒26ページへ

# 目の不自由な人とともに

1

## あいさつをするときは

目の不自由な人に出会ったときは向い合っ  
て、「こんにちは」「はじめまして」と声をかけ  
ながら握手あくしゆをしてください。目の不自由な人  
は、握手あくしゆされると、相手の背せの高さなどがわか  
ります。



2

## 手引きをするときは

目の不自由な人の手引きをするときは、一般  
に白杖はくじょうの反対側がわに立たって腕うでまたは肩かたにふれさ  
せ、半歩前はんぽぜんを歩あいでください。目の不自由な  
人は、ふれた手てを通して相手の動うごきがわかり、  
安心あんしんして歩あくことができます。



3

## 階段かいだんののぼりおりは

目の不自由な人を手引きして階段かいだんをのぼのぼった  
り、おりたりするときは、「階段かいだんです。のぼり  
ます。」「階段かいだんです。おります。」「終わおわりました。」  
などと声こゑをかけてください。また、歩道たんさ  
などで段差だんさがあるときにも「一段いちだんあがります。」  
「一段いちだんさがります。」と声こゑをかけてください。



4

## エスカレーターに乗るときは

白杖はくじょうを持っていないほうの手をベルトにのせてください。ベルトにふれさせずに腕うでを組んでエスカレーターのまん中のに乗せようとする、目の不自由な人は不安になります。



5

## 自動車に乗るときは

開いているドアのふちにちょっと目の不自由な人の手をふれさせてください。ドアの開き具合はうごうで車がどの方向むに向いているのかわかります。次に、反対側の手を車の屋根がわのへりにふれさせてください。車の高さがわがわかり、頭をぶつけずに座席ざせきに座ることができます。



6

## 駅構内では

駅構内こうないは、そう音やしん動どうが大きく、方向ほうこうがわかりづらくなります。特に、両側りょうがわに線路があるホームは、大変危険たいへんきけんです。駅の入口からホームまでの通路せまが狭かったり、構造こうぞうが複雑ふくざつなことも困ります。目の不自由な人が一人で歩いている姿すがたを見かけたら声をかけて、案内あんないしたほうがよいか聞いてみてください。



7

## 道を聞かれたときは

目の不自由な人には、「あっち」「こっち」というような代名詞だいめいしを使わないで、前後左右で教えてください。「この道をまっすぐに100メートル行けばバス停です。」という具合です。その際大切なのは、目の不自由な人から見た方向ぜんごさゆうで前後左右を教えてください。



8

## いすをすすめるときは

いすの背もたれに目の不自由な人の手をふれさせてください。いすの位置や方向が理解でき、一人でいすに腰をかけることができます。テーブルがある場合は、その上に手をふれさせることで高さがわかります。



9

## 食事などのときは

テーブルの上にはいろいろと物が並べてあるときは、時計の針の位置でどのような物がどこにあるのか教えてください。あとは自分で自由に食べることができます。例えば、「3時のところにコーヒーがあります。」という具合です。はしとか、スプーンの置いてある場所は前もって手にふれさせて教えてください。



# 耳の不自由な人とともに

## 1 口話 (読話)

口話 (読話) は、自分から話し、相手の口の動きを読み取ることで意思を伝えあう方法です。相手が口話をしているときは、口の動きがわかるように正面からはっきり話してください。ただし、口話には限界がありますので注意してください。



## 2

## 手話

会話は音声言語ですが、手話は目で見てわかる視覚言語です。耳の不自由な人たちの間で自然に生まれ、発展してきたものです。ただし、耳の不自由な人すべてが手話をするのできるわけではありませんから注意してください。また、最近では、手話の講習会が開かれていますので、参加してみましょう。



## 3

## 筆談

筆談は、手のひらや紙に文字を書いて意思を伝えあう方法です。耳の不自由な人に話しかけられた場合には、気軽に筆談で応じてください。最近では筆談に便利な用具をはじめ、耳の不自由な人の会話を助けるためのさまざまな用具が開発されています。





## 4

## 病院や銀行などで

耳の不自由な人は、病院や銀行の窓口などで呼ばれても聞こえません。そのようなときは、手招きをしたり、肩をたたいたりして知らせてください。しん動で知らせる器具（しん動よびだしき）や呼び出し用の電光けい示板を活用しましょう。



## 5

## ものをたずねられたら

耳の不自由な人から何かものをたずねられたときは、手話ができなくても、筆談や身ぶり手ぶりでかまいませんから、こころよく答えましょう。



## 6

## 電話をたのまれたときは

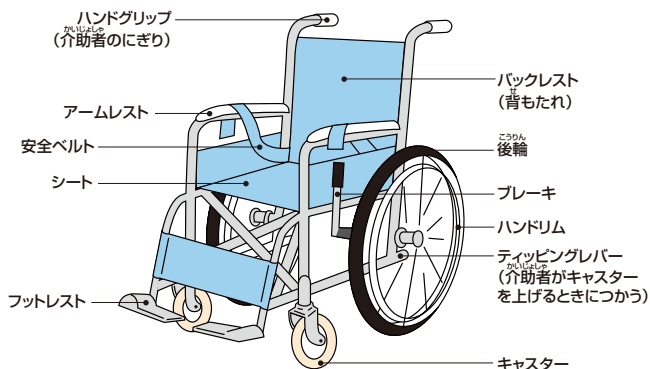
耳の不自由な人が電話をする必要ができたときは、近くにいる人にたのむことになります。たのまれたときはこころよく引き受けましょう。



# 手足の不自由な人とともに

〔車いすを使っている人とともに〕

## 1 車いすの構造



## 2

## 車いすの折りたたみ方

- 1 ブレーキをかけ、フットレストを上げる。
- 2 シートを持ち上げる。
- 3 完全に折りたたむ。

車いすのタイプによっては、折りたたみ方の違うものや折りたためないものもあります。



1. フットレストを上げる

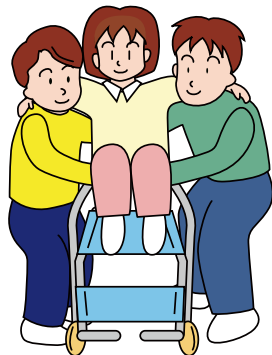
2. シートをもち上げる

3. 完全に折りたたむ

## 3

## 車いすに乗っている人をおかかえるときは

車いすに乗っている人をおかかえるときは、どのようにおかえられた方がよいか聞きましょう。2人でおかえる代表的な例としては、まず、車いすのブレーキをかけ、両わきから背中とひざの下に腕を入れます。このときに、ひざの下に入れた腕は、足を片方ずつおかえる方法と、おかえる人がお互いに手首の上を握り合う方法があります。また、前と後ろから、おかえる方法もあります。





## 4

## 段差のあがりさがりは

段差をあがるには、まず、ティッピングレバーをふんで車いすのキャスターを上げ、段の上ののせます。次に、ハンドグリップを持ち上げて後輪を押し上げます。段差をさがるには、まず、車いすを後ろ向きにします。次に、後輪を下ろし、キャスターを上げ、車いすを後ろに引いてキャスターを下ろします。



## 5

## 溝をこえるときは

溝をこえるには、まず、車いすのキャスターを上げ、溝の向こう側に下ろします。次に、後輪を少し上げながら溝をこえます。溝ぶたを横切る時は、キャスターを上げるか、ななめに渡ります。



## 6

## 坂をおりるときは

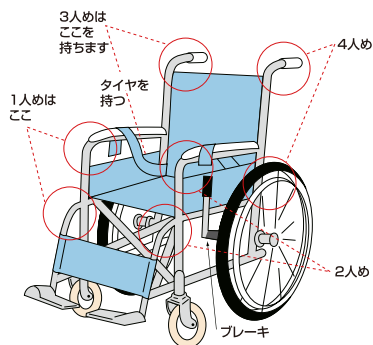
ゆるやかな下り坂では、前向きで、車いすを引くようにしております。急な下り坂では、後ろ向きでブレーキを軽くかけながらゆっくりとおります。下り坂を前向きにおりる場合、急ブレーキをかけると乗っている人が車いすからころげ落ちてしまうので注意しましょう。



## 7

## かいだん 階段ののぼりおりは

車いすの人の階段ののぼりおりは4人で行うと安全です。まず、車いすのブレーキをかけます。次に、2人がそれぞれフットレストの付け根とアームレストの前部を持ち、残りの2人がハンドグリップとタイヤを持って車いすを持ち上げ、ゆっくり進みます。この場合、かいだん階段をのぼる場合には車いすを前向きに、階段をおりる場合には後ろ向きにします。



※タイヤを持つときは必ずブレーキをかけてください。

まつば  
〔松葉づえを使っている人とともに〕

## 8 まつば 松葉づえの人がかいだん 階段をのぼるときには

うてか腕を貸せばのぼれる人、それではかえってのぼりづらい人などいろいろありますから、どうしたらよいか、よく聞いてからお手伝いしてください。



## 9

## 雨の日には

雨の日は、まつば松葉づえを使っている人が一番困る日です。かさはさせないし、足元はすべる危険があります。まつば松葉づえを使っている人にぶつからないようにしたり、かさをさしかけたりしてあげましょう。



1

電車やバスの中で

高齢の人や妊婦などは、立ったままの姿勢でいることがつらいものです。電車やバスなどで高齢の人や妊婦、ヘルプマークを付けた人などが立っているのを見かけたら、「おかけになりますか。」と一声かけて席をゆずりましょう。



2

高齢の人に話しかけるときは

高齢になると音が聞こえにくくなる場合があります。音が聞こえにくくなっている人に話しかけるときは、大きく口を開いて、ゆっくり、はっきりと話しかけてください。



3

ことばの不自由な人の話を聞くときは

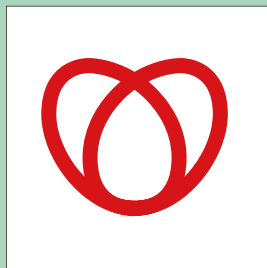
ことばの不自由な人の話を聞くときは、ことば一つ一つをきちんと聞き分け、どうしてもことばがわからない場合は、無理をしないで周りまわにいる大人を呼びよみましょう。



## さがしてみよう！ このマーク



(宮城県適合マーク)



(バリアフリー法認定シンボルマーク)



(仙台市適合マーク)

これらのマークは、<sup>こうれい</sup>高齢の人や<sup>しょうがい</sup>障害のある人だけでなく、「だれもが<sup>りよう</sup>利用しやすい施設」であることをお知らせするマークです。

### 編集

宮城県保健福祉部社会福祉課

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号

TEL.022-211-2519 FAX.022-211-2594 【E-mail】syahuku@pref.miyagi.lg.jp

ホームページアドレス <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/syahuku/>



このパンフレットは、再生紙と植物油インキを使用しています。  
この冊子は、22,000部作成し、一部あたりの印刷単価は16円です。